

## 単元名 間の数

配当時間 2時間

- 単元の目標 (1) 順序数と集合数の組み合わせられた問題について、その間の数に着目すればよいことを理解し、その関係を図に表すことができる。  
 (2) 順序数と集合数の組み合わせられた問題について、図を基にして考えることができる。  
 (3) 図に表すことのよさに気づき、問題解決の際に進んで用いようとする。

## 標準的な展開例

03040211\_001

学 習 活 動	留 意 事 項 など
<p>1 順序数の問題を図にかいて解くことができる。[p. 52]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 図にかいて、間の数を考えよう。</li> <li>○ 「みんなで考える問題」を読み、図をかいて、解決の仕方を話し合ったり、説明したりする。</li> </ul> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p> <p>2 1列に並んだものの数とその間の数の関係を、図を使って考えることができる。[p. 53]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本時の学習課題をつかむ。</li> <li>★ 図にかいて、間の長さを考えよう。</li> <li>○ 7本の木が2m間隔で植えられているときの、両端の木の間の長さを考える。</li> <li>○ 図を使って考えたり、解き方を説明したりする。</li> </ul> <p>○ 「練習問題」に取り組む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教科書の挿し絵を示し、題意をつかみやすくする。</li> <li>・ 正しい数量関係をつかむために、○図にかくことのよさを実感させる。</li> <li>・ 数の情報のみを読み取り、式を立てると誤答が起きやすいことから、○図をかいて考えるように助言する。</li> </ul> <p>【評】 図にかいて考えたり、説明したりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ ○図とともに、長さを表す線分図も共にかくよう指導する。</li> <li>・ 図がかけない児童に対して、教科書の図を参考にするよう助言する。</li> </ul> <p>【評】 図を使って考えたり、説明したりする活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 問題を解くだけでなく、図を使って友達同士で解き方を説明する時間をもつとよい。</li> </ul>

## 【 備 考 】

本単元では、順序数と集合数の組み合わせられた問題を扱うが、順序数は計算と結び付けて考えにくいいため、図をかいたり、数図ブロックを利用したりするなど、作業をしながら問題解決に取り組ませるとよい。

また、植木算では、 $(\text{木の数}) - 1 = (\text{間の数})$  という関係をつかませるために、教科書の絵や実際に図をかかせ、「木」と「間」を対応させるようにすることが大切である。